

弾き語り

イパネマの娘

Sarota De Ipanema

Music by A. C. Jobim Words by V. de Moraes

1963年に発表されたヴィニシウス・ジ・モライスの作詞、アントニオ・カルロス・ジョビンの作曲によるボサノヴァ初期の大傑作です。ジョビンがイパネマ海岸で偶然見かけた美しい女性を想い描いた、というは有名な話。アストラッド・ジゼルベットの歌で世界的なヒットになりました。この曲はさまざまなキーで演奏されますが、ここでは一般的な女声のキーであるDメジャーでアレンジしてあります。通常ベース音にはコードのルート音が使われますが、ボサノヴァの2拍子の感じを表現するために5度の音も使っています。このルート、5度と動かすことをオルタネイトベースといいます。リズムの複雑さに感われないよう、2分音符を刻んでいるベース音に身体を乗せてカウントしましょう。[B]からはどんどん転調するのでコードも変わります。

◀ CD:58

Instr. D₉^{tr}

[A] D₉^{tr} E7^{tr}

O - - lha que cui - - sa main - in - - da Mais chei - a de gra - - ca É e - - la se -
 Mo - - ca do cre - - po dou - rs - - do Do sol de ga - - se - - ma O O seu - la se -
 オ ヲ ケ コイ ザ マイ ス リン ダ マイ ソ ス ア ジ グラ - - マ オ イ エ ラ ハ
 オ ヲ ケ コイ ザ マイ ス リン ダ マイ ソ ス ア ジ グラ - - マ オ イ エ ラ ハ

E7^{tr} Em7^{tr} E7^{tr}

ni - - na Que vem e que pas - - sa Nem do - ce sul - an - - co ca - - min - ho do mar -
 ca - - do É mas que - um po - e - - ma É a cui - sa mais lin - - da que que - ja vi pas -
 ニ ナ ケ ヴェム エ ケ パス サ ネム ドーセ スルアンゴカミンホドマール
 ニ ナ ケ ヴェム エ ケ パス サ ヌム ドーセ マイ ス リン ダ マイ ソ ス ア ジ グラ - - マ オ イ エ ラ ハ